株式会社ジェイ・イー・ティ

2026年12月期
第3四半期決算説明資料

2026年11月11日

©J.E.T. Co., LTD. All rights reserved



上場維持に向けて

©J.E.T. Co., LTD. All rights reserved

上場維持に向けて

会計不正事案に伴い2026年6月18日より宣誓書違反による再審査に係る猶予期間入り
（～2027年6月18日）

上場維持に向け6月30日再発防止策を策定・公表

各施策を着実に実行し、上場維持に向けた取組みを推進中

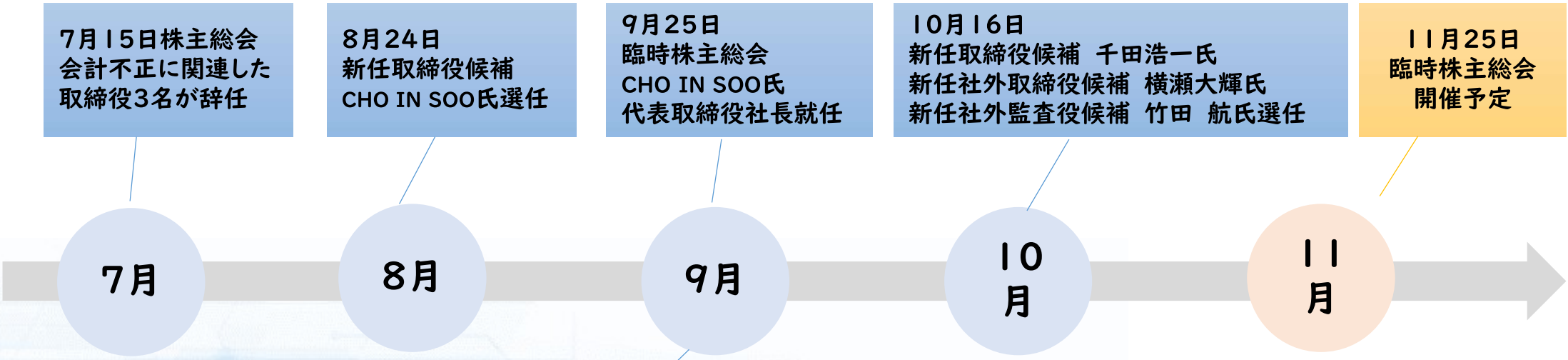
再発防止策

1. 会計リテラシーや誠実性を備えた経営トップによる経営体制の構築
2. 立上報告基準の「立上完了」の定義の見直し
3. 売上計上基準の整備・運用の徹底
4. 売上計上における財務部の承認の制度化
5. 管理部門専任の取締役の選任
6. 不正リスクを想定した内部監査の実施
7. 会計不正リスク対応のガバナンス強化

©J.E.T. Co., LTD. All rights reserved

新経営体制の構築、立上完了の定義見直しほか

株主総会、臨時株主総会を通じ新しい経営体制を構築中
業界に精通したCHO氏をCEOに迎えたほか、公認会計士資格を持つ管理担当選任役員候補
弁護士資格を持つ社外取締役、社外監査役候補を指名報酬委員会の答申を踏まえ選任



改善対策委員会で立上完了の定義を検討、
客先で立上を終え顧客了解のサインを
受領した段階と定義、規程を変更
9月1日より施行

©J.E.T. Co., LTD. All rights reserved

営業活動の強化、受注残の増加

再発防止策の推進等を通じたガバナンス強化、体制再構築と同時に
スタンダード市場での形式基準を満たすべく営業活動にも注力
市場環境の好転も追い風に受注残は増加中

2026年2月末

受注残
約120億円
受注の底

2026年9月末

受注残
約250億円
更に受注は増加中

©J.E.T. Co., LTD. All rights reserved



2026年12月期第3四半期
連結決算概要
通期予想

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

業績サマリー

中国の半導体メーカー、韓国メモリーメーカー向けの洗浄装置の立上は完了
一方で米国での韓国ファウンドリ向け装置の売上が遅延し前期比、減収
利益率高い装置の売上計上、部材など棚卸資産減少などから損失幅は縮小

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
9,365百万円	△9百万円	△87百万円	△569百万円
前期比 △13.8%	前年同期実績 △1,281百万円	前年同期実績 △1,359百万円	前年同期実績 △2,190百万円

- ✓ 地政学的要因などから不透明感は残るも、インフレの落ち着きや設備投資需要の拡大を背景に世界経済は回復の傾向
- ✓ 半導体業界は生成AI関連需要の拡大を背景に、データセンター向け先端ロジック半導体やHBMを中心としたメモリー向け設備投資が高水準で推移
- ✓ 先端プロセス投資や先進パッケージング技術への投資拡大の一方でレガシー半導体への投資も再開

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

連結業績

単位（百万円）	2025年3Q	売上比（%）	2026年3Q	売上比（%）	対前期比（%）	通期予想	進捗率（%）
売上高	10,859	－	9,365	－	△13.8	15,443	60.6%
売上総利益	733	6.8%	1,867	19.9%	154.7%		
販管費	2,015	18.6%	1,876	20.0%	△9.2%		
営業利益	△1,281	－	△9	－	－	△75	－
経常利益	△1,359	－	△87	－	－	△162	－
当期純利益	△2,190	－	△569	－	－	△1,093	－

単位未満切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入

- ✓ 売上高は前期比13.8%減収、売上の通期予想に対する進捗率は60.6%
- ✓ 利益率の高い装置の売上を計上したことに加え、受注の急回復を受け部材等の棚卸資産が減少、連れて評価損も減少。特別調査委員会の調査費用や改善対策推進委員会に関連するコンサルティング費用等の計上により四半期純損失を計上も、損失幅は大幅に改善

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

受注回復の主な背景

- 韓国市場において、生成AI関連需要の拡大を背景としたデータセンター投資の爆発的な増加に伴う、メモリー向け設備投資が加速したこと

- 中国市場において、22～23年の受注残が解消し、止まっていたレガシー市場での投資が再び動き出したこと

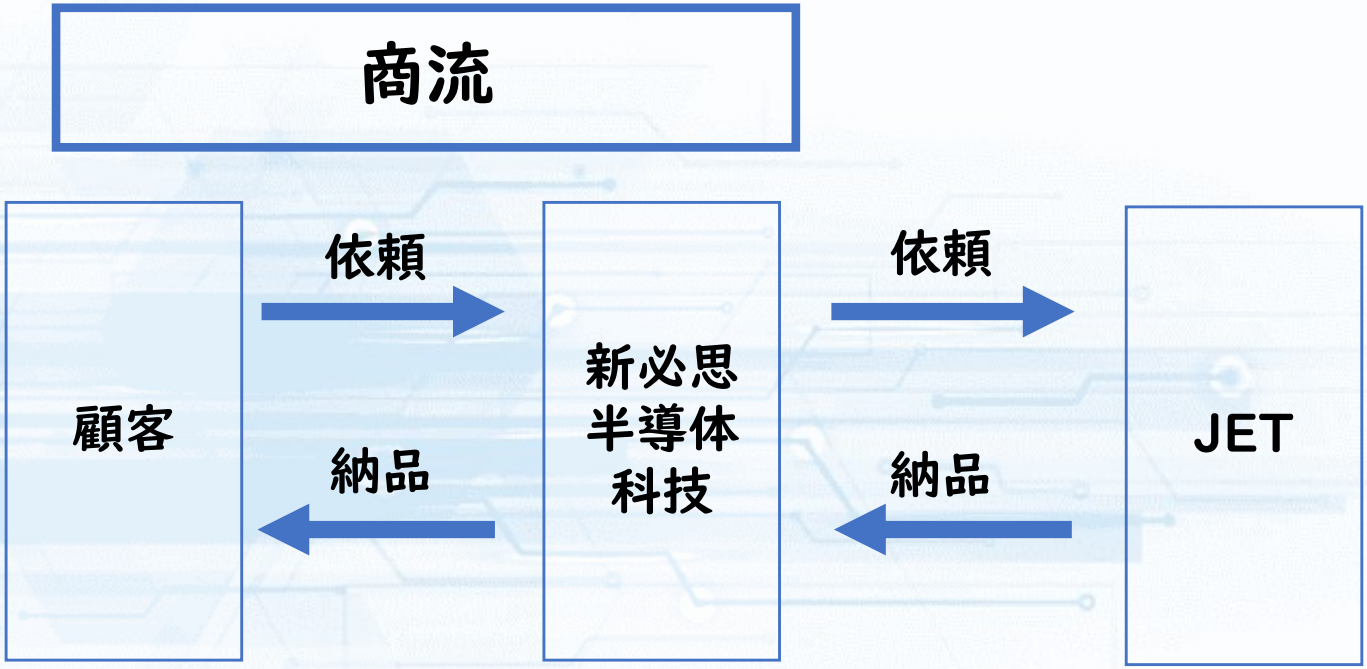


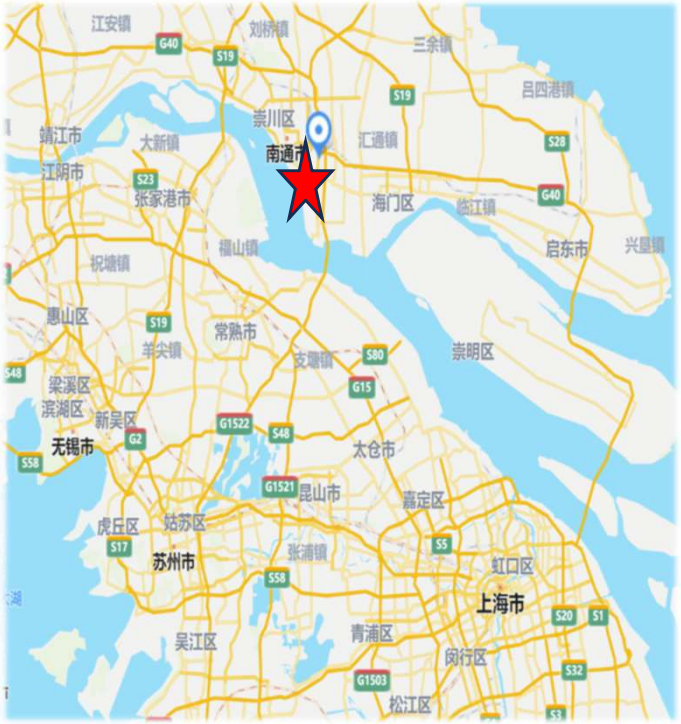
©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

新必思半導体科技を通じた中国市場対応

- 2025年9月19日、当社連結子会社　欧利白科技（上海）有限公司が、24.0%の出資を行った孫会社、新必思半導体科技（南通）有限公司を通じ、国産化を進める中国市場に対応

- 同社で受注して中国製として販売するという取り組みが少しずつ軌道に

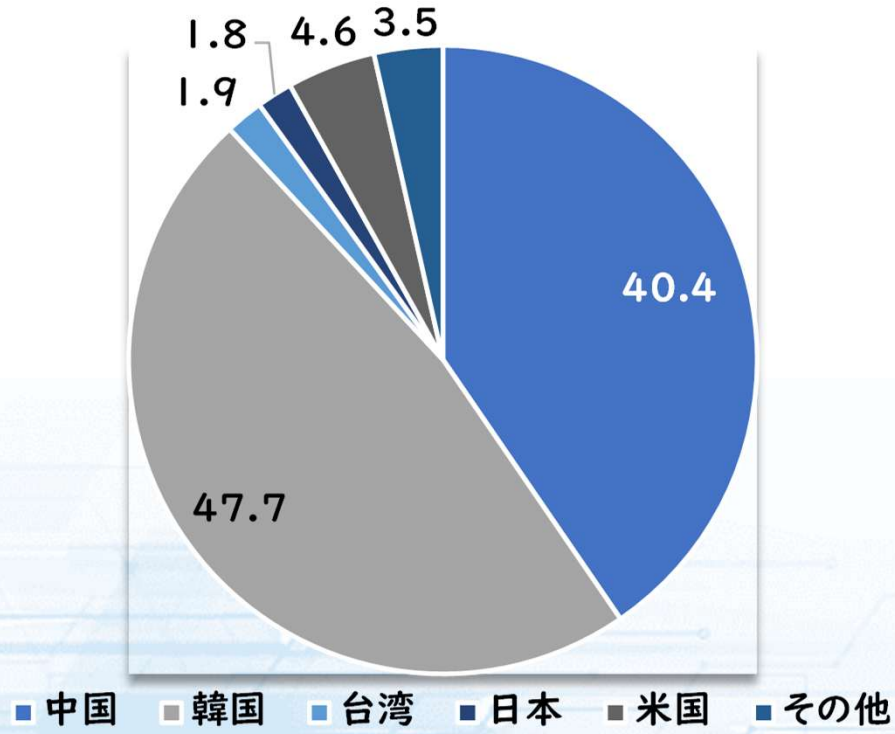




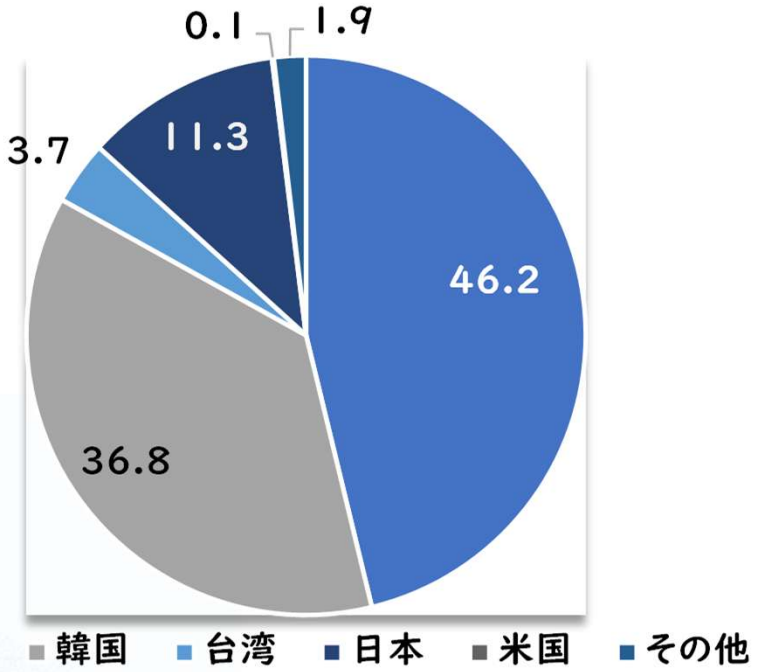
©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

半導体事業　地域別売上高構成比推移

2026年12月期は3Q終了時点ながらラピダスへの製品納入により日本の構成比が増加



2025年12月期計　単位%



2026年12月期3Q計　単位%

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

連結貸借対照表

単位（百万円）	2025年12月	2026年3Q	増減	主な増減要因
流動資産	18,103	19,542	1,438	「現金及び預金」及び「商品及び製品」の増加
有形固定資産	1,151	2,350	1,198	
無形固定資産	102	121	19	
投資その他資産	155	134	△21	
資産合計	19,512	22,147	2,635	
流動負債	5,573	12,529	6,956	「1年以内返済予定の長期借入金」及び「前受金」の増加
固定負債	4,218	436	△3,782	「長期借入金」の減少
負債合計	9,792	12,966	3,174	
純資産合計	9,720	9,181	△539	「利益剰余金」の減少
負債純資産合計	19,512	22,147	2,635	

単位未満切り捨て

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

2026年12月期　市場環境見通し

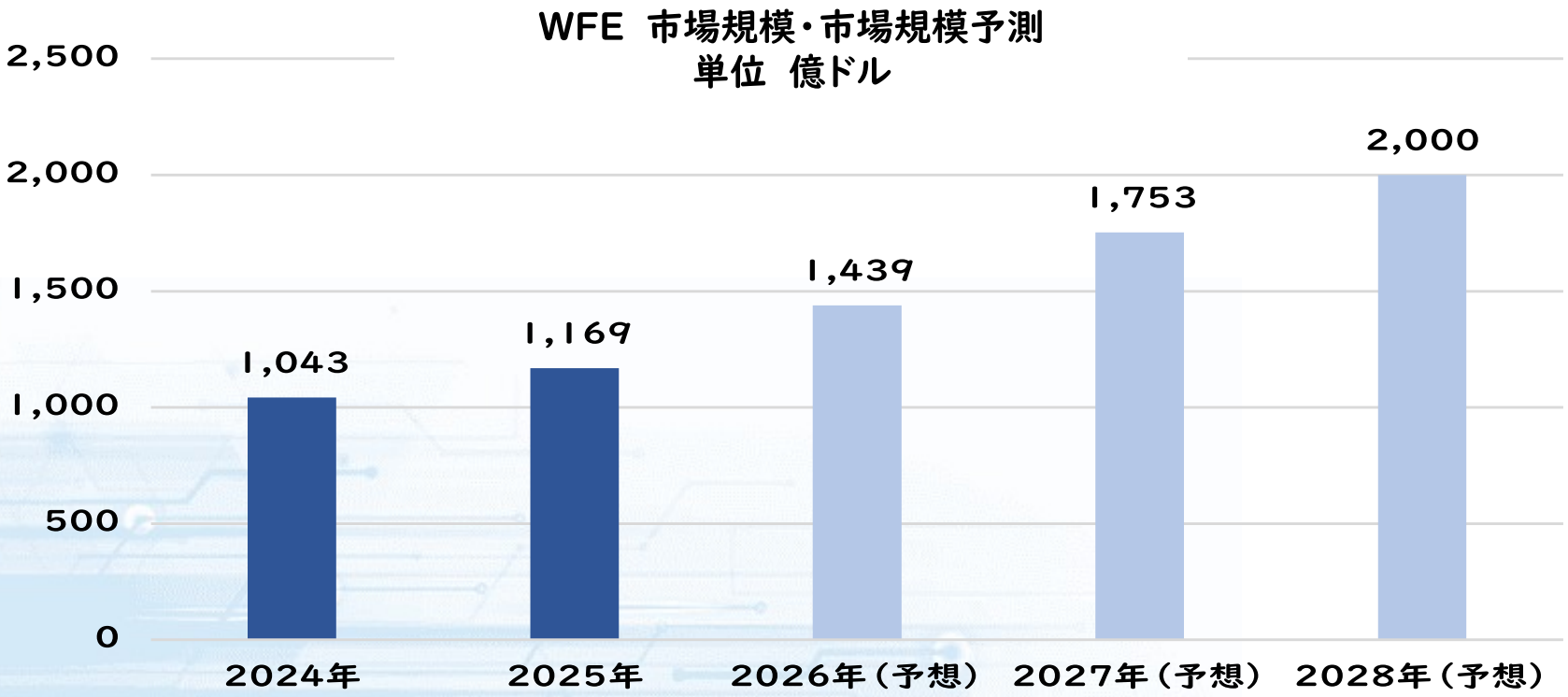
データセンター投資継続にかかる事業者の財務面での不安や、建設予定地域の住民不安からの政治的な制約など懸念要素はあるものの、現実的には引き続き膨大な需要が存在

- ✓ AI需要増大に伴い、引き続き韓国メモリーメーカーもDRAMの微細化や積層数増加によるHBMの容量拡大、NANDフラッシュの3D構造の更なる高層化に向けた投資拡大を継続
- ✓ 中国においても先端化に向けたファウンドリ、メモリーメーカーの投資堅調
- ✓ 2026年は日本製半導体装置の販売高は過去最高を更新する見通し

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

需要見通し

AIインフラ、先端ロジック、先進メモリー、HBM投資などを背景に
半導体前工程向け製造装置の販売額は2028年には2,000億ドル突破の予想



出所：SEMI2026年7月14日リリースより弊社作成

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

2026年12月期通期業績予想

受注の回復なども追い風に、早期の黒字転換を期す

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
15,443百万円	△75百万円	△162百万円	△1,093百万円
前期比 5.3%	前期比 ー	前期比 ー	前期比 ー

- ✓ 投資を積極化する韓国メーカーに対し引き続き働きかけを強める
- ✓ レガシー投資が再開した中国市場で国産化対応施策など通じ受注強化に努める
- ✓ 米国、韓国ファウンドリメーカー向け装置は2026年12月期中の立上完了を予定
- ✓ 選別受注の徹底、装置設計の見直し、装置仕様の最適化、装置製作の内製化など
  コスト削減への取り組みを強める

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved



事業再構築の方向性

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

目指すゴール・ビジョン１

- 9月より新体制のもと、中核的な社員も参加して2027年～2029年の新しい中期経営計画の議論を開始。**2026年12月期決算発表に併せた発表を目指し計画策定中**

- 5年後に目指すゴール・ビジョンを策定中（案）

品質と技術で選ばれ、安定して利益を生み、
社員が誇りと安心をもって働ける会社へ

＊顧客から指名される、信頼性の高い主力製品がある
＊技術とノウハウが継承され、次の製品を生み出せる
＊適正な受注管理により、安定供給と収益性を両立する

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

目指すゴール・ビジョン2

短期の優先事項

- 品質向上で既存顧客の満足度を高める
- 不具合削減、コストダウン、現場負担軽減を優先

長期の優先事項

- 新要素を含む製品を確立
- 安定利益体質への転換を図る

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

エリア戦略（韓国・中国）



【韓国】既存顧客の指定席堅守
- NAND向けリン酸装置のシェア奪還
- 枚葉式装置の再アプローチ
- ZEUSとの連携強化

【中国】国産化への対応強化
- 新必思半導体科技でのBW3000の装置製作
- 既存顧客を堅守しながら更に国産化に対応する打ち手を模索

- 日本→次世代の主力市場へ育成
- インド→TATAへの販売を足掛かりに市場を開拓10年～20年後の拡販を目指す
- 台湾・米国（欧州）→戦略を再検討

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

Appendix

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

会社概要　半導体洗浄装置の開発・製造・販売・アフターサービスを展開

リーマン・ショック後の半導体不況時に民事再生手続を開始し、その後破産手続に移行したエス・イー・エス㈱が前身
同社の卓越した半導体洗浄装置に関する技術を継承すべく、
販売代理店であった韓国企業のZEUS CO., LTD.（以下、「ZEUS」）の全額出資のもと、
2009.4.24に設立、2009.5にエス・イー・エス㈱の岡山工場等を事業譲渡により引き継ぎ誕生

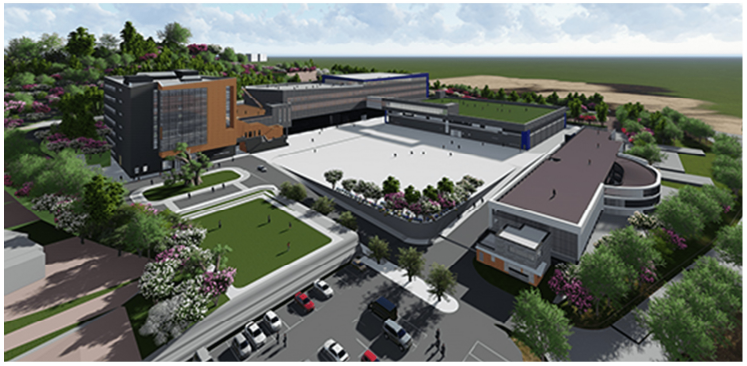
■会 社 概 要

会　社　名	株式会社ジェイ・イー・ティ
英　訳　名	J.E.T. Co., LTD.
設　立	2009年4月
資　本　金	1,848百万円（2025年12月31日時点）
所　在　地 T　E　L	岡山県浅口郡里庄町新庄金山6078番 0865-69-4080
代　表　者	代表取締役社長　CHO　INSOO 代表取締役専務　平井　洋行
従 業 員 数	176名 266名　※連結会社含む全従業員数 (2026年6月30日現在)
事 業 内 容	半導体洗浄装置の開発・製造・販売・アフターサービス等
主 要 納 入 先	サムスン電子（韓国）SMIC（中国）

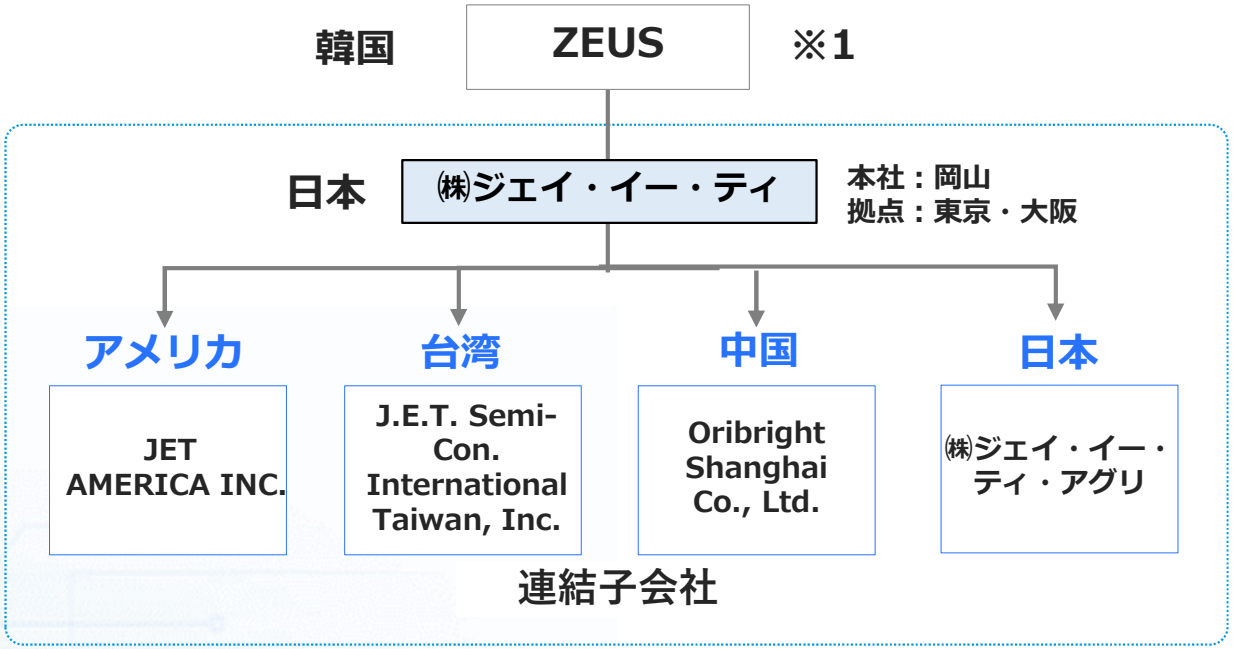
©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

グループ関係図

親会社ZEUSとは事業の棲み分けがなされ、競合関係もなく、経営についても役職員の出向等の受け入れを廃止し独立性の確保を図る



関係図



※1 韓国取引所KOSDAQに上場

所在地：　大韓民国
京畿道華城市
資本金：　15,530,995千KRW
事業の内容：　半導体・液晶用各種製造装置の製造・販売
当社の議決権の
保有割合(%)：66.3%（直接）
関連当事者
との関係：　営業取引
取引の内容：　双方より部品・材料等の販売・仕入及び
装置製造業務委託、
当社よりZEUSへ販売手数料支払い等

＊2022年4月末までは、当社にてZEUSより非常勤取締役1名を受け入れていたが、
2022年5月以降、ZEUSから当社への役職員の出向等による受け入れは行っていない。
＊JET韓国については、2026年1月1日付で韓国支社として活動を継続。

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

拠点

■ 国内拠点
■ 海外拠点



韓国支社 21名

J.E.T. korea Co., Ltd.

Oribright Shanghai Co., Ltd.　北京事務所
Oribright Shanghai Co., Ltd.　無錫事務所
Oribright Shanghai Co., Ltd.　合肥事務所
Oribright Shanghai Co., Ltd.　西安事務所
Oribright Shanghai Co., Ltd.　広州事務所
Oribright Shanghai Co., Ltd.　上海本社



中国拠点　63名

＊中国拠点については、一部の事務所の掲載を省略しております。

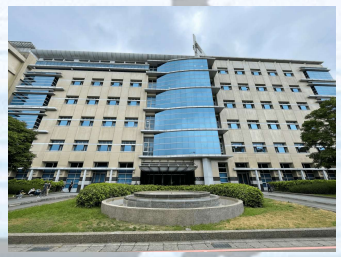
大阪事務所(※2)
東京事務所(※１)
㈱ジェイ・イー・ティ
九州出張所(※１)

● 本社
● 笠岡ファーム(※１)

本社（岡山）



J.E.T. Semi-Con. International Taiwan, Inc.
（HEAD Office）台湾本社



台湾拠点 20名

J.E.T. Semi-Con. International Taiwan, Inc.
（Singapore branch）シンガポール支社

シンガポール　4名



JET AMERICA INC.

米国拠点 3名

※１東京事務所及び九州出張所では、
当社顧客へのフィールドサービスを提供。
※2大阪事務所は、LIB製品の営業を担当。
※3笠岡ファームでは、当社連結子会社
㈱ジェイ・イー・ティ・アグリがトマトを栽培。

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

当社主要製品①

	BW3000	BW3700
		
洗浄方式	バッチ式洗浄装置 300㎜ウエハ対応	バッチ式洗浄装置 300㎜ウエハ対応
特徴	◎顧客要求に応えるフレキシブルな構成（洗浄槽の配列、数量を任意に対応可能） ◎生産効率の向上 ◎500WPHに対応する高速LD/ULD ◎装置設置面積が小さく、工場内への設置数を増やすことが可能 ◎二酸化炭素の低減 ◎気体流量のコントロールを実現 ◎標準化仕様化を進め、立上タイム短縮 ◎SEMI standardに対応 ◎EES（EDA or TDI）に対応	◎装置設置面積が小さく、工場内への設置数を増やすことが可能 ◎排気システムの個別配管により各処理槽の処理能力を安定化 ◎ウエハ間ピッチ7㎜処理の実現 ◎ウエハの接触部の縮小化の実現によるパーティクル（微細なゴミ）の発生を減少 ◎気泡発生の低減化を実現 ◎リバースフローシステムにより液置換効率を向上 ◎濃度の安定性を向上 ◎豊富な処理槽種類に対応 ◎1薬液プラス1DIW構成に対応
価格帯 （平均単価） （百万円）	210~400	320~560

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

当社主要製品②

	BW2000	HTS-300
		
洗浄方式	バッチ式洗浄装置 200㎜ウエハ対応	枚葉式洗浄装置 300㎜ウエハ対応
特徴	◎高い生産効率 ◎高い洗浄能力 ◎省フットプリント ◎顧客要求に応えるフレキシブルな構成（処理槽の構成、数量の変更に対応）	◎最小150ccの薬液消費量での処理を実現 ◎最高240℃での高温処理を実現 ◎最短30秒でのストリップ処理を実現 ◎ウエハ反転処理によるヒューム（薬液の蒸気）拡散防止の実現
価格帯 （平均単価） （百万円）	150～210	330～540

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

当社主要製品③ BW3500

主力機種BW3000が開発から20年を経過、より顧客ニーズに応えられる後継機種として、BW3500を開発

→ 今後投資の中心になる28nm以上のプロセスをターゲットに

→ RCA洗浄の他社製品からの切替を意識

BW3000からの改善点

1．フットプリントの削減
（装置面積にて15～16%、装置全長で20%の削減）
2. 新たな搬送方式の採用
（搬送アームに加え、Moving/Single Lifterによる搬送）
3. 環境・安全対策
（OHT専用PORTの設置、薬液雰囲気漏れ軽減の機密性向上）
4. 破損防止対策（樹脂槽の採用）
5. 操作性向上（操作画面の大型化、カラー化、情報量アップ）

ほか、ONE BATH、メタルイオン対策、新排気システム、薬液使用量削減、スループット向上、新乾燥システムの採用などを実現



BW3500

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved

注意事項

本資料の取扱上の注意

- 本資料は、2026年11月11日発表の決算短信に基づいて作成されています。
- また、本資料に記載されている業績予想、将来予測などは、当社が現時点で入手可能な情報に基づき 判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証したり、約束したりするものではありません。また、経済動向や業界における競争、市場、諸制度などの変化により、大きく見通しが変動する可能性があります。
- 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。また、比率は四捨五入しております。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ジェイ・イー・ティ
経営戦略部
TEL 0865−69−4281

©J.E.T. Co.,LTD. All rights reserved